

当社の環境目標 (様式-30)

作成日：2022年07月22日

改訂日：2024年07月22日

トップマネジメント	環境管理責任者
	


実行責任者：黒川実 (環境管理責任者)

整合性	環境目的	現状 33期実績 (2023-2024)	目 標				当社全体	第1部門(運搬)	第2部門(営業・総務)	第3部門(処理)
			32期 (2022-2023)	33期 (2023-2024)	34期 (2024-2025)	35期 (2025-2026)				
方針 3-c) 登録No.*01	当社全体の電気使用量を第35期までに現状より5%を削減する	受入廃棄物 1tあたり 7.48 kWh/t	目標値 9.95 実績値 8.95	目標値 8.68 実績値 7.48	目標値 7.48 kWh/t	33期実績から -5% kWh/t	◎	○	○	○
方針 3-c) 登録No.*02	収運車両の燃料使用効率を第35期までに第33期実績より0.02ポイント(P)向上する	燃料 1ℓあたり 4.47 km/ℓ	目標値 4.39 実績値 4.47	目標値 4.47 実績値 4.57	目標値 4.57 km/ℓ	33期実績から +0.02P km/ℓ	◎	○		○
方針 3-c) 登録No.*03	営業車の燃料使用量を第35期までに第33期実績の2%を削減する	売上高 百万円あたり 5.82 ℓ/百万円	目標値 8.27 実績値 7.14	目標値 7.14 実績値 5.82	目標値 5.82 ℓ/百万円	33期実績から -2% ℓ/百万円			◎	
方針 3-c) 登録No.*04	重機の燃料使用量を第35期までに第33期実績の2%を削減する	取扱廃棄物 1tあたり 5.70 ℓ/t	目標値 6.07 実績値 5.96	目標値 5.96 実績値 5.70	目標値 5.70 ℓ/t	33期実績から -2% ℓ/t				◎
方針 3-a) 登録No.*05	受入廃棄物の総量を第35期までに第33期実績の2%を増量する	受入廃棄物 24,898 t/年	目標値 20,687 実績値 23,424	目標値 23,424 実績値 24,898	目標値 24,898 t/年	33期実績から +2% t/年		○	◎	
方針 3-b) 登録No.*06	産廃有価物(金属屑・廃プラ)を第35期までに第33期実績の2%を増量する	産廃有価物 1,077 t/年	目標値 754.8 実績値 1,005	目標値 653.28 実績値 1,077	目標値 1,077 t/年	33期実績から +2% t/年				◎

当社の環境目標 (様式-30)

作成日：2022年07月22日

改訂日：2024年07月22日

トップマネジメント	環境管理責任者
	

実行責任者：黒川実 (環境管理責任者)

整合性	環境目的	現状 33期実績 (2023-2024)	目 標				当 社 全 体	第 1 部 門 運 搬	第 2 部 門 (営 業 ・ 総 務)	第 3 部 門 (処 理)
			32期 (2022-2023)	33期 (2023-2024)	34期 (2024-2025)	35期 (2025-2026)				
方針 3-b) 登録No.*07	リサイクル物資 (RPF・セメント原燃料・がれき類・木屑) を 第35期までに現状より12%を増量する	リサイクル物資 7,318 t/年	目標値 3,436.8 実績値 4,739.0	目標値 5,212.9 実績値 7,318	目標値 7,318 t/年	33期実績から +12% 5,307.7 t/年				◎

◆関連文書：「環境マネジメントマニュアル」(EMS-001)

◎印：目標値の主管部門 ○印：施策の実行部門

※1：受入廃棄物とは受入の総量を指し、取扱廃棄物とは総量から事業系一般廃棄物を差引いたものを言う。

※2：産廃有価物の量は金属屑・廃プラの内、売却した数量を指す。

※3：リサイクル物資の量はRPF・セメント原燃料・がれき類・木屑の内、リサイクルした数量を指す。

第34期の目標値設定について

トップマネジメント、及び環境管理責任者の交代、更に内製化（コンサルタント解任）初年度となる今期は、これまで築いたルールが現場に浸透しているか、PDCAサイクルの枠組みを確認する事を第1優先事項とする。

このことを踏まえて、第33期の実績値そのままの値を目標値と設定した。